

2018年を平和で良き年に

伊那民報

野党共闘前進と

共産党の躍進めざって

新年おめでとごうございませす

昨年は衆議院選挙などへのご支援ありがとうございました。今年には伊那市の市長・市議会議員選挙の年です。市民の皆さんと力を合わせ暮らしと営業を守り温かい市政を目指してがんばります。

国政では、自民・公明党によって憲法9条改憲案が国会に提出されようとしています。改憲の動きをストップし、平和を守るために、広く野党や市民の皆さんと手をつなぎ、共に取り組んで参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひします。

2018年 元旦

日本共産党伊那市議

前澤けい子
飯島光豊
柳川ひろみ

発行：日本共産党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ「JCP上伊那」

題字
山口昭七氏
(西箕輪)



新年メッセージ



衆議院議員

藤野やすふみ

世界中でも日本も大激動する中で2018年が始まりました。1月の通常国会で私は衆院予算委員会、法務委員会、原子力問題特別委員会、フル回転する決意です。

今年には憲法9条をめぐる歴史的なたたかいの年。武田、井上両参院議員と力合わせて、野党と市民の共闘を前進させ、日本共産党を強く大きくするために全力を尽くします。



参議院議員

井上哲士

昨年は被爆二世として国連本部で核兵器禁止条約の採択に立ち会い、被爆者の声が世界を動かしたと実感しました。今年はいぬ年。私は年男で三度目の成人式。来年の参院選での躍進と自らの四選をめざし、願ひあるところ駆けまわり、改憲許さず平和に生かせと大いに吼え、介助犬のように国民の命に寄り添ってがんばりぬきます。



参議院議員

武田良介

昨年は、核兵器禁止条約が国連総会で採択されたことに胸を熱くしました。安倍政権は「条約は理想論であり、現実的核軍縮を」といいます。しかし、核兵器と戦争がもたらす惨禍こそ直視すべきです。2018年は、安倍政権による憲法9条改悪を許さないたたかいを広げます。市民と野党の共闘が新しい政治を切り開く時代、力いっぱいがんばります。

- ☆ **アベ政治を許さない行動**
1月3日(水) 午後1時～
ベルシャイン前・手良坂信号機付近
主催：九条の会など
- ☆ **共謀罪法廃止行動**
1月10日(水) 午前7時半～
平成大橋たもと
共産党が呼びかけ
- ☆ **戦争法廃止行動**
1月19日(金) 午前7時半～
竜東橋北交差点・三峰川橋たもと
9条の会が呼びかけ
- ☆ **「脱原発」いな金行動**
毎週金曜日午後6時～6時半
いなっせ北側広場
主催：さよなら原発上伊那の会

地蜂

横浜「港の見える丘公園」、木立に囲われた中に「愛の母子像」が設置されています。▼1997年9月27日厚木基地を離陸した米軍機ファン

トムが離陸直前に燃料満載の状態エンジン火災を起こした。乗員2名はパラシュートで脱出し無事。機体は住宅に墜落し、周囲20戸を炎上。全半壊させた。墜落事故で土志田和枝さんと二人の愛児が犠牲となる。子どもは「はとぼっぼ」を歌い「パパ・ママ・バイバイ」と言い残して翌日に死亡。母の和枝さんも4年後に亡くなりました。像の前を通る観光客、この成り行きも知らずに通り過ぎます▼今やアメリカ一辺倒の安倍政権。有無を言わず沖縄辺野古米軍基地・高江ヘリパッド建設を強行し、そして、日本はもろろん世界の宝、憲法9条に自衛隊を明記し戦争出来る国に変えようとしています。平和憲法の最大の危機・岐路の年となりました。決して国民投票実施や国民投票で改憲勢力に過半数を与えてはなりません。「蟻の穴から堤も崩れる」憲法9条は平和の堤、少しでも穴をあけてはならないと思ひます▼戦後生まれの安倍首相、小さな母子像を見て欲しい。日米地位協定の犠牲で何の補償もなく殺された親子の像を。像の台座には「愛の親子像・あふれる愛を子らに」と記されています。そして「蟻の一穴天下も破れ」にしたいと強く思ひます。(H・I)

— 9条改憲に7割が反対 —

安倍暴走を許さない!

安倍首相は、アメリカが起す戦争に協力するため、戦争法や共謀罪法などを強行、防衛予算を拡大させ、沖縄で米軍基地建設強行、憲法9条の改悪など戦争への道を暴走しています。

これに伊那市内の「憲法9条を守る会」などが、毎月3日午後「アベ政治を許さない」宣伝行動に、手良の中坪交差点やベルシャイン伊那店前で。19日朝、三峰川橋たもとで高遠9条



12/3 ベルシャイン前での行動
立ち続けることが大切ですね。

の会が、竜東橋北交差点で東春近や竜東の9条の会が大萱交差点で青年と西箕輪9条の会が「戦争法廃止」や「平和憲法を守ろう」などの看板を掲げて宣伝に取り組みました。

改憲阻止へ 3千万署名を

最近の世論調査では、憲法9条の改正に反対が7割に。9条の会や共産党などは「9条改憲NO! 3千万署名」を人口の3割余を目標に急いで集め、改憲を阻止したいとしています。

共謀罪廃止へ — 野党と市民が結束

安倍政権が昨年6月に「テロ対策」を口実に強行した共謀罪法の廃止にむけて共産・立憲・自由・社民

青年：第二回ロウドウ学校
1月20日(土)午後7時
有報堂(西箕輪)

高遠9条の会：新年会
1月6日(土)午後4時
連絡 石川宅

東春近9条の会：三浦久トーク・ライブ
1月28日(日)
午後1時半 春近郷ふれ愛館

永久に不戦を誓うつどいに340人

上伊那地区憲法を守る会主催の第34回永久に不戦を誓うつどいが、12月8日飯島町文化館で開かれ340人が集いました。

元高校教諭の木下健蔵さん(63)が「伊那谷に疎開した陸軍登戸研究所と高校生たちの調査」のテーマで講演。木下さんは赤穂高校在職中の1989年、当時の平和ゼミナールの生徒か

ら、文化祭で発表するために登戸の調査を手伝ってほしいと頼まれたのきつかけに、調査に加わりました。

東伊那 中沢・



講演する木下健蔵さん

での聞き取り調査から始め、その後、登戸研究所の地元川崎で同様の研究をしていた学生や市民との交流もおこない、研究が進み、先の戦争中の風船爆弾や化学兵器、毒薬などの研究などの全貌を明らかにすることができました。

当日は当時の高校生、春日(現北原)いづみさんらも登壇し「何も知らなかったので好奇心だけで調査に没頭していた。いい経験だった」と振り返り平和の大切さを訴えていました。

新春文芸

絵手紙

俳句

鏡餅ひ孫の名前そつと乗せ
小松利江(手良)

「資本論」凍土(いてつち)
穿(うが)つごとく読む
高橋 忠(手良)

飛行機雲やがて散りゆく秋の空
原 久子(上新田)

明けやらぬ仙丈の上星一つ
寒さにめげず一步ふみ出す
原 弘(上新田)

笑えない落とし癖はへりの窓
渡辺 光博(東春近)

川柳

短歌

山崎桂子(山寺)

菊池みち子(荒井)



荒 恵子(西箕輪)



酒井要子(手良)



渡辺佐智子
(東春近)

飯島光豊後援会：
新春の集い
2月4日(日)午後2時
渡場すこやか館

*連載記事は次号に掲載させていただきます。(編集部)